



# 熊本城と庭つづき。 “まちの大広間”が完成！

中心市街地の活性化と回遊性の向上をめざし、整備を進めてきた桜町・花畑周辺。  
11月上旬、いよいよ花畑広場の供用がスタートし、まちなかの広大な公共空間が誕生します。

多様なイベント等に対応できることはもちろん、普段から憩い・集える快適な空間となるように整備しました。ぜひ気軽にお越しください。

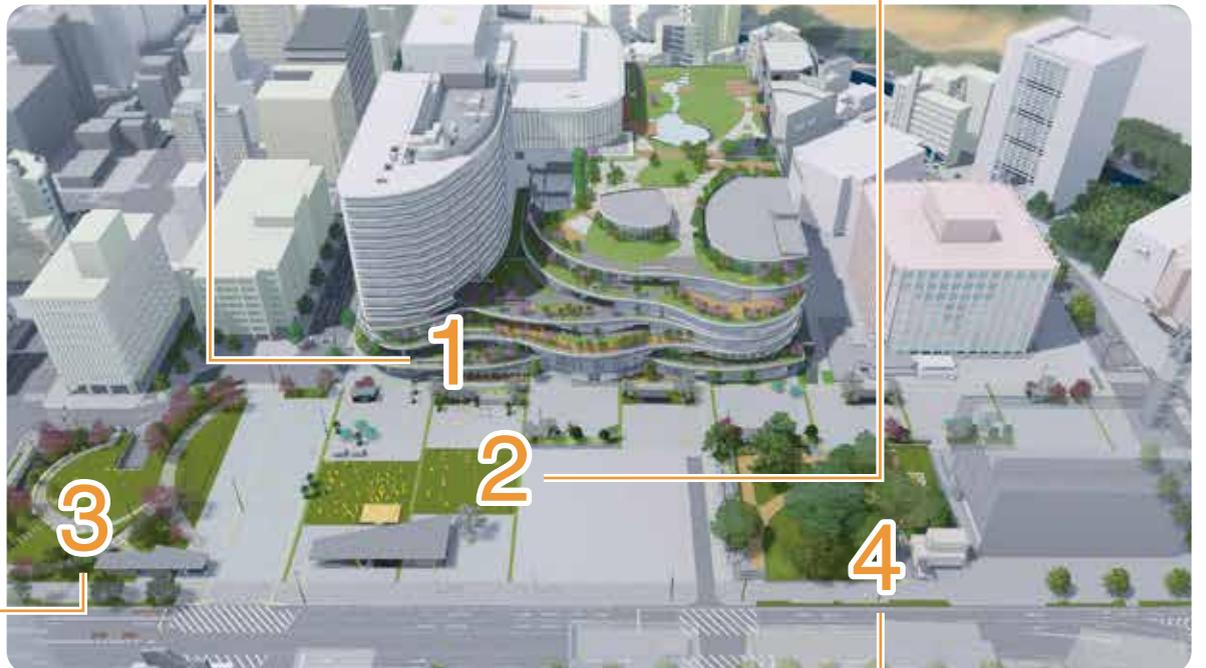


市街地整備課 花畑広場マネジメント班  
かまだ けんじ  
鎌田 憲治

## 1 シンボルプロムナード 2 サービス棟

熊本城との空間的な一体性を感じられ、開放的で憩える空間となるよう植栽帯やベンチを配置しました。また、熊本城の瓦を再利用した舗装や人工芝等を配置し、多様なアクティビティが可能となるにぎわいあふれる空間となります。

移動動線に配慮し、花畑広場東側にインフォメーション機能やトイレ、休憩場所等を備えたサービス棟(管理棟)を設置しました。地下通路やサンクンガーデンと連結しているため雨の日もスムーズに行き来でき、待ち合わせにもピッタリです。



〈完成イメージ〉

## 3 辛島公園

既存の石張りを撤去し、植栽を増やして涼しく快適にくつろげる空間を創出しました。園路沿いには、子どもたちが遊び場として楽しめる親水施設(ポップジェット)を設置し、安心して見守れるようにベンチも完備しました。

## 4 花畑公園

既存の記念碑や工作物を可能な限り集約し、周囲との視線・動線の連続性を確保しました。市指定天然記念物の大クスを中心に、明るい緑陰の中で歴史を感じられる空間です。



# 安全で、災害に強く、持続可能な工夫も満載！

地震などの発災直後は花畑広場に避難できるように、一時避難所としてさまざまな防災機能を設置しています。

### Wi-Fiポイントの設置

国内外からの来訪者等の利便性向上、観光・交通情報等の発信力強化、大規模イベントや災害時の情報伝達手段の充実を目的として設置しています。

### 雨水貯留槽+手押しポンプ

雨水を一時的に貯留し、公園の植栽への水やりや災害時のマンホールトイレの排水に活用します。地下水保全、防災、節水による経費削減の3役を担います。

### 耐震性貯水槽

震災等で水道が使用できなくなった場合、貯水槽内の水を飲料水として使用できる構造です。

### マンホールトイレ

下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設けることで、災害時に迅速にトイレ機能を確保します。